

令和6年8月16日

独立行政法人日本学生支援機構が発行する
「ソーシャルボンド」への投資について

上天草市は、基金の運用を通じてSDGsの推進に貢献するため、独立行政法人日本学生支援機構が発行するソーシャルボンド（第76回日本学生支援債券）を購入することとしました。

1 実施内容

基金の運用を通じてSDGsの推進に貢献するため、独立行政法人日本学生支援機構が発行するソーシャルボンド（※1）を購入することとしました。

同機構は、持続可能な開発目標（SDGs）の目標4「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成に資する等、我が国の教育面の課題解決に向けて取り組んでいる機関です。

本債券の発行による調達資金は、同機構が担う奨学金事業の内、貸与奨学金の財源として活用されます。

（※1）社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券のことであり、ESG（※2）投資の対象となります。

（※2）環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とは、これらの要素を重視・選別して行う投資のこと。資金の用途によりグリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンド等に分かれます。

2 取組に至った背景

本市では地方自治法の趣旨を踏まえ、基金の一部を活用し、安全性の確保を第一に効率性も考慮した債券運用に取り組んでいます。

また、本市は、令和4年5月に「SDGs 未来都市」に選定されるとともに、令和13年を目標期限とする上天草市第3次総合計画において『「人と海のふれあうまち」～イノベーションによる“幸せを実感する”持続可能なまちづくり～』を将来像として掲げています。

その取組の一環として、環境改善や社会貢献に寄与する事業を資金用途とするESG債への投資を行うことで持続可能な社会の形成に寄与し、社会的使命・

役割を果たすとともに、購入の際には投資表明を行い、対外的に公表します。

ESG 債の発行によって調達された資金は、事業への充当を通じて SDGs の達成に貢献するものとなっています。

3 本債券の概要

銘柄	第76回日本学生支援債券(ソーシャルボンド)
年限	2年
発行額	300億円
発行日	令和6年9月9日

4 購入額 3億円

5 購入日 令和6年9月9日(月)



(連絡先)

上天草市 総務部 財政課

担当：中田課長、中野主事

電話：0964-26-5528

FAX：0964-56-4972